

## 新聞読んだ考えた

# 万博で各国の歴史学ぶ

八戸学院光星高3年

たか はし みさき  
高橋 実桜さん



2025年5月25日付7面／アートを通じ  
「人間らしさ」探る フランス館、イタリア  
館 大阪・関西万博で話題  
大阪・関西万博のイタリア館とフランス館  
が注目を集めている。「芸術が生命を再生す  
る」がテーマのイタリア、「愛の賛歌」がテ  
ーマのフランス。日仏の絆を表現した展示も  
あり、両国の伝統を生かしつつ、目を引く工  
夫がされている。

私はこの記事を読んで、大阪とい  
う身近な場所ですべて世界中の国々と国際  
交流ができることが、とても良いこ  
とだと思った。

イタリア館では、カラバッジヨの  
名画や、ミケランジェロの彫刻が並  
ぶ。フランス館は高級ブランドのモ  
エ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン（L  
VMH）が日本の建築家と組んで演  
出したゴージャスな空間や、ディオ  
ールの多彩な寸法のドレスを並べた  
インスタレーションなど、普段日本  
では見ることができない展示物が多  
くあるそう。

特に、首里城とノートルダム大聖  
堂、厳島神社の大鳥居とモン・サン  
ミッシェルの修道院を並べた展示  
は、日仏の絆を表現していることで、  
とても感動した。

このように、万博の展示は、日本  
では普段見られない作品に加えて、  
各国と日本のコラボレーションを楽  
しむことができる。国同士が遠く離  
れていても、お互いの歴史や文化な  
どを学ぶことができる、良い機会だ  
と思った。